

11/9
福井

「工学的安全性の確認は、少しく県民目線があってもいい。告書の社会的影響は大きい。県のためにやっている。県のいいのではないか。しかし中川委員長は「われわれの立場は違う」と判断する」。県原子力安

は、関西電力大飯原発3、4で、それを何かに適応するかわした。



安全性確認は県庁のため？

全専門委員会の中川英之委員長は会合後、記者団にこう語った。同専門委は県が設置した助言機関だから当然の回答ではあるが、もう

号機の再稼働に西川一誠知事も同意するかの、重要な判断材料の一つだ。専門委の指摘を受け、関電は追加委員会を審査結果の取りまとめに際して国民意見を募る。技術面の助言のみが目的なので、県民との対話は県庁の役目だ」と主張する専門委。その専門委が言う「工学的安全性」を信じ、安全を願って暮らしている78万人の県民がいることを忘れてはならない。(坂下亨)